

塘研究室現地調査報告

8月14日に浄土平～鎌沼～東吾妻山～景場平～鳥子平～浄土平のルートで高山性アザミウマ類の現地調査を実施しました。調査内容は山岳域のイネ科を寄主とする未記載種(*Thrips*属の一種)の分布確認で、県内の山岳域に広く分布している種ではなく、このエリアからしか記録されていない種の確認がメインでした。残念ながら過去に記録がある鎌沼周辺や景場平でも採集することはできませんでした。ただし、遺伝子解析の材料として昨年度あちこちで探したにもかかわらず、採集できなかった種(*Sphaeropothrips vittipennis*)を鎌沼付近から得ることができました。

夏の花が終わり、秋の花にはまだ早いタイミングでしたが、アサギマダラ、エルタテハ、クジャクチョウなど美しいチョウたちがセリ科の花やミヤマリンドウの花を吸蜜に訪れる姿を楽しみながらの調査ができました。秋に再度の調査を実施する予定です。



酸ヶ平湿原のミヤマリンドウ



酸ヶ平湿原のエルタテハ



鎌沼から見た東吾妻山



東吾妻山山頂から裏磐梯三湖を望む



景場平の池沼



鳥子平のギボウシ類